

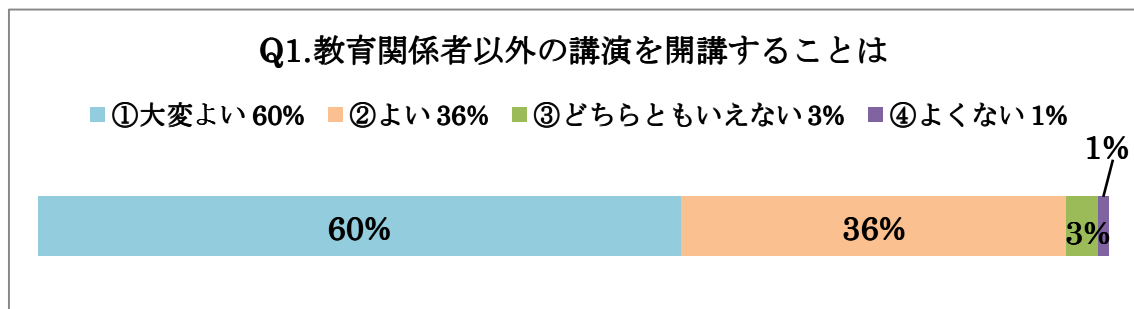
## 21世紀の教育を考える会「調査」

「21世紀の教育を考える会」に、教員免許更新を位置づけ、「社会が必要とする学校」を中心議題として講習会を開催した。参加者に対し、教員研修の構成について調査し、その結果から今後の課題について考察したので、報告する。

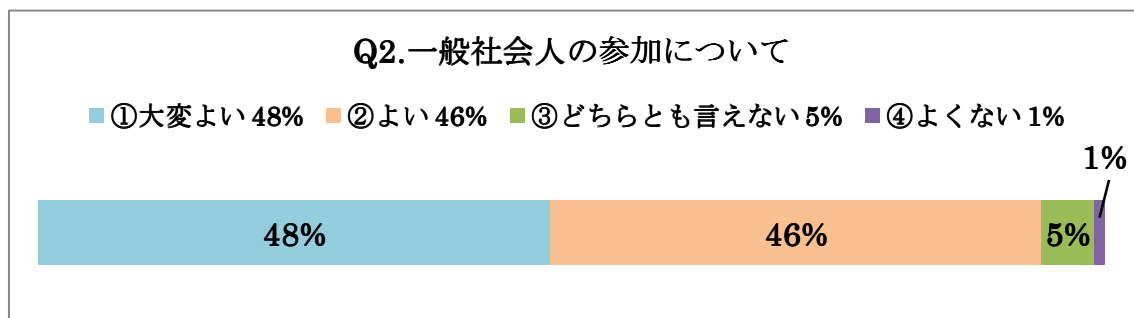
『本年度、「21世紀の教育を考える会」について、皆様方のご意見をお聞きし、次への発展を勧めたいと考えています。つきましては、次の質問にご回答くださるようお願い致します。（尚、この調査結果は、個人情報としての取り扱いは致しません。また、集計結果は、広くご紹介し、更に多くの方々のご意見をいただき、今後の教育研究や研修の進め方の検討資料といたします。）』

(※ 回答者中、一般社会人（教職関係者以外）：18%)

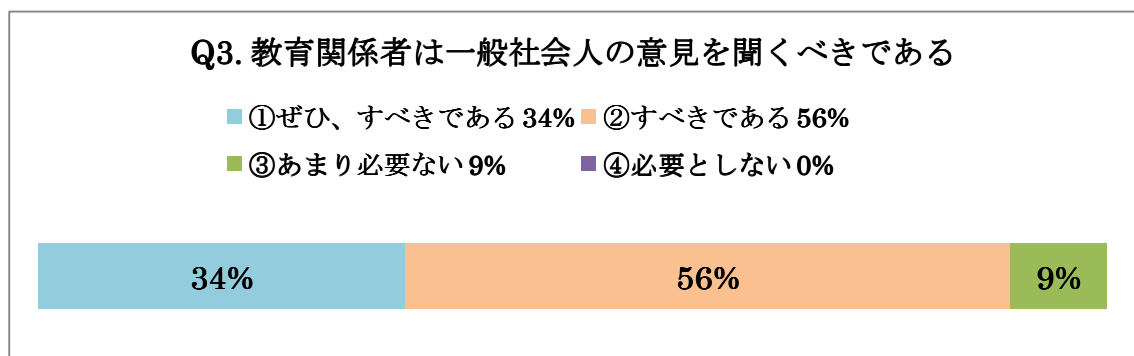
Q1. 今回、教育関係者でない早川信夫氏にお願いし、「社会が必要とする学校」をお話しいただきました。このような、教育関係者以外の講演を開講することは



Q2. 一般社会人にも参加いただいています。社会人の方々の参加について



Q3. 研修会等を開催する教育関係者は、一般社会人の意見を調査等で聞くべきである。



Q4. 教員の研究会等に社会人（保護者を含め）の講師として参加は

Q4.教員の研究会等に社会人（保護者）の講師の参加は

■ ①必要である 73%   ■ ②どちらとも言えない 24%   ■ ③必要ない 0%

